

「蚕の繭からの糸取りと座繰り体験をしました！」

～3年生 総合的な学習の時間「蚕を育てよう」～

12月5日（木）の5、6校時、講師の方々をお二人を講師としてお招きし、蚕の繭糸取りと座繰り体験を行いました。講師のお二人には、学習前から冷凍の繭を茹でていただく等、早くからご準備をしていただきました。

5時間目になり、まず、繭の糸取りの方法についてお話をいただきました。子供たち一人一人に、牛乳パックの中にお湯と繭が入ったものが1つずつ配られます。子供たちは、久しぶりの繭との対面にワクワクしている様子でした。糸取りは、繭に歯ブラシを当てて優しくこすることから始めます。まもなく、繭からいくつかの糸が出てきて、出てきた糸を引っ張っていくと、1本の細い糸だけが残りました。その糸をペットボトルに巻き付けていきます。その1本の細い糸を引っ張り続けると、お湯の中で繭がかすかに動いている様子が見られ、細い糸が繭からつながっていることを確かに確認できました。子供たちは、集中して糸取りに励みました。

その後、「座繰り」という昔使われていた道具の説明をしていただき、その道具を実際に使わせていただきました。糸車を回すことで、カタカタ・・・という音を立てながら、糸がきれいに巻かれていきます。お湯につかった10個の繭の糸を引き、1本の糸になっていく様子はとても興味深いものでした。昔の道具に実際に触れることができ、とてもよい経験となりました。

ご多用の中、貴重な体験活動をさせていただき、本当にありがとうございました。

